

対馬釜山事務所だよ!

釜山・対馬写真交流

「へえ、これって本当に対馬?こんなに近く見えるの?」
釜山事務所の壁に掛かっている3点の写真をみる人々は必ずこう感嘆します。

2点は対馬から見える釜山、1点は釜山から見える対馬の写真で、対馬から釜山まで49.5Kmという距離を目で認識させてくれる貴重な物なのです。見れば見るほど不思議というか、対馬をより身近に感じさせてくれます。この写真を通じた交流が10月に行われました。



釜山事務所の3点の写真

23日は、写真撮影のために安東(釜山から北へ3時間の距離)の伝統的な村へ行きましたが、いい写真を撮りたいという気持ちが一致したためでしょうか、言葉を用いなくとも、よい被写体を見つけようとする「目」とカメラを動かす「手」で会話をしているかのような印象を与えられました。

また、9月28日~10月1日には「釜山観光展」で、10月6日からは今年で10回目を迎えた釜山映画祭の一環行事である「釜山国際フィルムコミッション映画産業博覧会」で対馬を宣伝する活動を行ないました。



映画祭でのPRの様子

10月24日~27日までの4日間、対馬日韓交流写真協会と釜山国際写真交流協会が主催した「釜山・対馬写真交流展」が釜山で開かれました。今年で8回目を迎えた写真交流展は、1998年から両国の友好親善と写真文化発展のため対馬と釜山において隔年で開催しているそうです。

24日のオープニングには、対馬と長崎から写真家やご家族の方々がお越しになり、まるで対馬と釜山間の短い距離をカメラのレンズを通してさらにズームアップしたような、より親密な関係を確認する写真交流展でした。



安東での撮影風景

釜山観光展での対馬PRは毎年の行事でしたが、釜山映画祭での対馬宣伝は今年が初めてとなりました。映画のロケ地として選ばれるように地元をアピールする場となっているこの行事には、日本全国のフィルムコミッションを初めとして、ニュージーランド、香港などの様々な地域が参加しました。

いつかは日韓合同製作の映画のロケ地として浅茅湾などが取り上げてもらえればと夢見ながら、映画祭で宣伝活動を行ってきました。

対馬釜山事務所 **金 京一、辛 恩京**

税務課だよ!

あなたの税がまちづくりを支えています

11月11日~17日は「税を考える週間」です。皆さんに納めていただく市税は、市の一般会計歳入の7.8%を占め、明るく住みよいまちづくりを進めるための重要な財源になっています。

市税は納期限内に納付を
市税は、納税者の皆さんが定められた期限(納期限)までに、自主的に納めていただくものです。このことを自主納税制度といい納税の本来の姿です。

市では、納期限までに納税しない滞納者に対して、督促状を送付し納税を促すほか、電話催告や訪問指導を行っています。また悪質な滞納者には、不動産や給料、預貯金など財産の差し押さえを行い、その財産を公売するなど、市税滞納の一掃に取り組んでいます。

「市税は、市民みんなの財産です。」市税を有効に使うため、納期は必ず守りましょう。

納付は便利な口座振替で
市税の納付には、市役所や金融機関の窓口で直接納める方法以外に、口座振替を利用する方法があります。

手続きは、各支所税務班、市内の金融機関または郵便局の窓口でできます。通帳と印鑑(通帳印)、納税通知書を忘れずに持参してください。

口座振替にできる市税

- ・市県民税(普通徴収)・固定資産税
- ・軽自動車税・国民健康保険税

【問合せ先】税務課

0920536111